

各 位

2022年12月19日  
株式会社天夢人

東京の中心地・池袋と新宿を起点とする二大幹線を中心に  
関東西部に12路線を走らせる西武鉄道のすべてがわかる  
『西武鉄道のすべて 改訂版』刊行

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝峰富雄)は、2022年12月19日に、『西武鉄道のすべて 改訂版』を刊行いたします。



鉄道会社のことがよくわかると鉄道ファンから沿線住民、就職活動生まで、幅広い層から支持を集めている「鉄道まるわかり」シリーズ。本書は2019年に発刊され好評だった第6弾『西武鉄道のすべて』の改訂版です。西武鉄道は、池袋を起点に吾野を結ぶ池袋線と、西武新宿と本川越とを結ぶ新宿線の二大幹線を中心に、西武秩父線、西武有楽町線、豊島線、狭山線、山口線、拝島線、西武園線、国分寺線、多摩湖線、多摩川線の計12路線を関東西部にて運営しています。本書では、鉄道はもちろん、67年ぶりにカラーリングデザインがリニューアルされた路線バス「Story」エピソード、2021年にリニューアルオープンした西武園ゆうえんちなどさまざまな事業への取り組みにわたって、2019年以降の新しい情報を追加・更新しています。

## 【第1章 西武鉄道の企業がわかる】

古くから不動産事業やレジャー産業にも注力してきた西武ホールディングスの幅広い取り組みについて紹介します。

### SEIBU 01

#### 池袋・新宿を拠点に西へ広がる西武鉄道の路線網

東京都北西部と埼玉県南西部をエリアとする西武鉄道。首都圏屈指のベッドタウン路線としての重責を担うほか、グループとして不動産開発やホテル、観光施設、プロ野球・埼玉西武ライオンズなど幅広い事業を展開している。

#### 池袋と新宿の二大拠点から路線網を築く

西武鉄道は12路線、総延長179.6kmの路線網を持つ大手私鉄である。社名は旧国名「武蔵国」西部にちなみだと告げられており、東京都多摩地区や川越、秩父方面などに路線網を展開する。都心部ターミナルの池袋と新宿の2カ所に分散しているが特徴で、双方も拠点に池袋線と新宿線とが並行して通じている(※)。これは、池袋や川越などをエリアとしていた西武鉄道(川越鉄道として1892年に設立)、池袋～熊谷間などの路線を運営していた武蔵野鉄道(1912年設立)の2社を前身としているため、他路線と接続のない多摩川線のみは再系統に属さない「飛び地路線」となっている。路線中、山手線が電流750Vの業内軌条式鉄道となっているのは期間1067mm/道床1,500Vで統一され、路線間や他社路線との直通運転も実施されている。

路線の多くは都心と郊外とを結ぶベッドタウン路線だが、秩父方面や小江戸・川越などへの観光利用も多い。1969年から全

西武鉄道の主要路線		総延長
池袋線	池袋～東武	67.9km
池袋線	池袋～有楽町線	18.9km
池袋線	池袋～有楽町線	2.0km
池袋線	池袋～有楽町線	4.0km
池袋線	池袋～有楽町線	47.0km
池袋線	池袋～有楽町線	14.3km
池袋線	池袋～有楽町線	9.2km
池袋線	池袋～有楽町線	7.9km
池袋線	池袋～有楽町線	2.6km
池袋線	池袋～有楽町線	9.8km
池袋線	池袋～有楽町線	2.0km

西武鉄道で一番の注目を集めているのが、2019年5月にデビューした001系「ラビュー」。乗客の姿でも、西武鉄道の個性が感じられる。

#### 西武鉄道の企業がわかる

車指定席の特色が運行され「レッドアロー号」として親しまれてきた。2019年には新型特急車両001系「ラビュー」がデビューし、看板列車として活躍している。

#### 多角経営により総合的に沿線の魅力を生み出す

西武鉄道と西武グループは多角経営に取り組み、バスやタクシーなど交通関連のほか、不動産や旅行・観光、物販など幅広く事業を展開してきた。とりわけ不動産分野では沿線の宅地開発をはじめ、宿根や桂井などの観光開発を早期から手掛け、関西方面などを含む各地に基盤を築いてきた。

2006年には西武鉄道が西武ホールディングスの傘下となるなど、西武グループの再編が行われた。関連してランダムメイトを一新したほか、グループブランド「わらわら」を制定し、親しみやすさをアピール。コーポレートメッセージ「あれも、これも、かなう。西武鉄道」では「都市と自然、仕事と遊び、暮らしと観光」という沿線の二面性をテーマにその魅力を総合的に発信。まちづくりや環境対策、イベントなどさまざまな事業やサービスに注力している。



西武鉄道が運営する池袋駅西口にある西武百貨店。西武百貨店は池袋駅西口を拠点として、西武ホールディングスの多角経営の中心となっている。

#### 用語解説

**武蔵国**  
【むさしのくに】

旧国名のひとつで、現在の東京都および埼玉県、東京都の大半と埼玉県東部にあたる地域を指す。西武は現在の東京都を中心とした、この地域に拠点を多く持つ。西武ホールディングスも、西武ホールディングスの傘下としてさまざまな事業を展開している。

## 【第2章 西武鉄道の路線がわかる】

池袋線と新宿線の2路線を基幹路線とし、多くの支線が分かれている西武鉄道の個性豊かな各路線を解説します。

### SEIBU 11

#### 複々線区間もある西武の重要ルート 池袋線①・池袋～所沢間

池袋～吾妻野間を結ぶ池袋線は、西武鉄道の幹線の一つである。吾妻野で西武池袋線と接続し、秩父鉄道の直通運転を行うが、東京メトロを介した新木場～横浜方面との相互直通など多彩な運転系統も見せる。

#### 他社線との相互乗り入れ運転が盛ん

池袋線は、池袋を起点に西へ向かい、所沢や有楽町を經由して吾妻野に至る57.9kmの路線である。吾妻野は西武池袋線と接続しているが、新木場がダイヤアップ構造になっているため、田沼を境として、池袋～有楽町間、有楽町～所沢～西武池袋線間とに分断している。そのため、池袋～西武池袋線間の特急「ちちぶ」をはじめとする直通列車は、概ね進行方向が逆転する。

西武池袋線、池袋線、豊島線に直通する列車があるほか、西武有楽町線に直通し、東京メトロ有楽町線、副都心線、東武東上線、横濱高速鉄道みなとみらい線と西武を含む4社間での直通運転をするなど、入り組んだ運転系統となっている。

池袋線は、1915年4月に武蔵野鉄道武蔵野線として池袋～熊谷間が開業。開業後、新宿線の前身である川越鉄道と接続するルートが形成された。吾妻野延伸(池袋線全通)は1929年9月で、1952年3月に池袋線と接続した。なお、西武池袋線の開業は1969年10月を持つこととなったが、同時に5000系「レッドアロー」(特急「ちちぶ」)がデビューしている。

#### 池袋線 池袋～所沢間

種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別
池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線	池袋線

#### 西武鉄道の路線がわかる



池袋線は池袋～所沢間の複々線区間と、山手線の複々線区間と、有楽町線の単線区間とが並行して運行されている。池袋線は池袋～所沢間の複々線区間と、山手線の複々線区間と、有楽町線の単線区間とが並行して運行されている。

#### 武蔵野西部のベッドタウンを快足!

池袋～所沢間は、ほぼ全線において住宅地帯の環境を呈している。池袋を新木場に向けて発車して間もなく、JRの日直駅のすぐそばでほぼ直角にカーブしながら山手線を跨ぎ、市街地を縫うように西へ走り、所沢を目指す。所沢～練馬間で西武有楽町線が合流。練馬は同線と豊島線を含む3路線の接続駅となっている。

練馬～有楽町間には高層ビルが立ち並び、内線を各駅停車とする方向別を併用する。高層ビルは、2007年から練馬～有楽町間で運行する池袋線と有楽町線がある。高層ビルは、2007年から練馬～有楽町間で運行する池袋線と有楽町線がある。高層ビルは、2007年から練馬～有楽町間で運行する池袋線と有楽町線がある。

秋津～所沢間は武蔵野線から分岐するJRの連絡線が併走する三線区間となっている。この連絡線は、かつて西武とJRとの間で運行されていた貨物列車に用いられたもので、貨物列車廃止後も多摩川線の車両の出入入など、車両輸送用のルートとして残されている。



## 【第5章 西武鉄道の歴史がわかる】

1912年に設立された武蔵野鉄道と、1892年設立の川越鉄道をルーツとする西武鉄道。その長い歴史の中で起きたさまざまなできごとを解説します。

### SEIBU 59

#### 1912-1944 池袋～飯能間を一気に開業した武蔵野鉄道

池袋駅をターミナルとする池袋線は、1915年に武蔵野鉄道が開業した路線だ。当初は高気圧列車牽引だったが、1925年までに電化され、埼玉県入間地方を都心を経由輸送路を構築した。

**武蔵野の台地を貫いて開業**

西武鉄道の正史では、1915年に現在の池袋線の一部、池袋～飯能間を開業した武蔵野鉄道が始点とされている。当時の池袋駅周辺はまだ集落帯が形成されておらず、沿線も田舎や雑木林が広がるとなった。1922年に池袋～所沢線、1925年に池袋～飯能線まで電化し、さらに1929年までに池袋～保谷間で複線化が完成した。当時、アメリカで電気鉄道が盛んになり、日本でも地方鉄道で電化ブームが起こっていたこと、1923年の関東大震災により、都心で被災した人が郊外へ移転する傾向が見られたことなどから、武蔵野鉄道も沿線の開発を促して電化と複線化が進められた。



1915年に開業した西武武蔵野鉄道の路線図。池袋から所沢や飯能へ、都心を経由し、埼玉県入間地方を都心を経由輸送路を構築した。後に延伸することになり、西武池袋線とされた。

#### 西武鉄道の歴史がわかる

都市近郊鉄道への道を歩んでいた武蔵野鉄道は、1926年に開業した遊園地・練馬駅 豊島園(現・としまえん)へのアクセス路線、豊島線を翌27年に開業。さらに1929年には狭山線西武所沢～村山公園(現・西武球場前)間を開業した。狭山線は建設中の山口貯水池(狭山湖)への資材輸送を主目的とした。山口貯水池と隣接する村山貯水池(多摩川)開通は当時、行楽スポットとして脚光を浴びていたことから、ここを目指して1930年1月に多摩川鉄道が狭山～村山貯水池(現)間を、同年4月に旧西武鉄道が東村山～村山貯水池間を開業している。

**苦境の武蔵野鉄道を救った堤康次郎**

武蔵野鉄道は1929年9月に戦前～戦中期間を開業した。これは狭谷地方で進む石炭石の運搬・輸送・販売、そして戦後の復興を目的としていた。しかし、複線化や列車の増発など先行投資を行いつつながら、折からの世界不況により沿線開発は思うように進まず、武蔵野鉄道の赤字は悪化していた。これを救ったのが堤康次郎である。堤が率いる不動産事業を営む積組土地(後のコクフ)は現在の東京都小平市に小平学園都市を開き、交通機関として多摩川鉄道国分寺～狭山間を開業した。また、積組土地は武蔵野鉄道沿線の次郎学園でも宅地開発を行っていたが、武蔵野鉄道の苦境は積組土地にも影響を与えていた。

堤は1932年までに武蔵野鉄道の経営を掌握し、再度に乗り出した。しかし、なかなか好転せず、1934年には鉄道委員会に基づく強制執行が実施され、運営収入が管理人の管理下に置かれる憂き目にも陥っている。

なお、多摩川鉄道は現在の多摩川線で、1940年に武蔵野鉄道に吸収された。また、旧武蔵野東村山～村山貯水池間は現在の西武園線である。



1929年9月に開業した武蔵野鉄道の苦境を救った。戦後の復興を目的とした。山口貯水池と隣接する村山貯水池(多摩川)開通は当時、行楽スポットとして脚光を浴びていたことから、ここを目指して1930年1月に多摩川鉄道が狭山～村山貯水池(現)間を、同年4月に旧西武鉄道が東村山～村山貯水池間を開業している。

1932年2月7日、創業以来、1929年に戦前～戦中期間を開業した。これは狭谷地方で進む石炭石の運搬・輸送・販売、そして戦後の復興を目的としていた。山口貯水池と隣接する村山貯水池(多摩川)開通は当時、行楽スポットとして脚光を浴びていたことから、ここを目指して1930年1月に多摩川鉄道が狭山～村山貯水池(現)間を、同年4月に旧西武鉄道が東村山～村山貯水池間を開業している。

**用語解説** 堤康次郎 [つみ やすじろう]

1932年2月7日、創業以来、1929年に戦前～戦中期間を開業した。これは狭谷地方で進む石炭石の運搬・輸送・販売、そして戦後の復興を目的としていた。山口貯水池と隣接する村山貯水池(多摩川)開通は当時、行楽スポットとして脚光を浴びていたことから、ここを目指して1930年1月に多摩川鉄道が狭山～村山貯水池(現)間を、同年4月に旧西武鉄道が東村山～村山貯水池間を開業している。

## 【第6章 西武鉄道の魅力がもっとわかる】

公共交通機関だけでなく、ホテル、レジャー施設、プロ野球球団など、多彩な側面を持つ西武グループ。最新の取り組みから西武グループを構成する施設などを紹介します。

### SEIBU 68

#### 狭山丘陵のレジャー施設 西武園ゆうえんち・狭山スキー場

プリンスホテルを軸とするレジャー・リゾート事業にも積極的な西武グループは、沿線でも古くからレジャー施設の運営にあたり、とりわけ、狭山丘陵周辺は複数の施設が集まる一大レジャーゾーンとなっている。

**緑の森に広がる西武園ゆうえんち**

狭山丘陵は埼玉所沢市や東京都東村山市などに広がる丘陵地で、人遊園である狭山園(山口貯水池)と多摩川(村山貯水池)を中心に保護林が広がる貴重な自然園地。西武園ゆうえんちはその東麓に築かれた大型レジャー施設で、1960年に東村山文化園として開業。西武グループでは、隣接する西武園ゴルフ場や西武ドームなどと合わせてレジャー開発を進め、年間100万人規模の利用者を誇るレジャーゾーンとして発展してきた。

園地を存分に生かし起伏に響く自然公園風の園内には、地上62mの大観覧車やタコをデザインしたユニークな回転ゴンドラ「オクトパス・アドベンチャー」などのアトラクションが満載。2021年9月には開業10周年を記念して、新たにニューアールを完成。新たに1960年代をイメージした「夕日の丘商店街」やリアルな映像や音響で「ゴジラ」の世界を再現した「ゴジラ・ザ・ライド 大怪獣襲撃」などがお目見えしたほか、アトラクションが刷新されている。



西武園ゆうえんちには、プールや大観覧車、タコをデザインしたユニークな回転ゴンドラ「オクトパス・アドベンチャー」などのアトラクションが満載。2021年9月には開業10周年を記念して、新たにニューアールを完成。新たに1960年代をイメージした「夕日の丘商店街」やリアルな映像や音響で「ゴジラ」の世界を再現した「ゴジラ・ザ・ライド 大怪獣襲撃」などがお目見えしたほか、アトラクションが刷新されている。

#### 西武鉄道の魅力がもっとわかる

**多くのレジャー施設が点在する狭山丘陵エリア**

西武グループが発着したユニークなレジャー施設のひとつ、狭山スキー場がある。全長300m、最大傾斜15度からなるグレンゼを持つ屋内人工スキー場で、都心から近いグレンゼとして親しまれている。

屋内スキー場そのものではなく、豊島園スキー場や積組室内スキー場があったが、造雪機の導入や人工雪を用いたグラススキー(管装軌)、ナイター営業などを取り入れ、ロングセラーとしても確固たる地位を築いてきた。

そのほか、狭山丘陵エリアにはベルーナドーム(高円寺ドーム)、増水亭や西武園競輪場など、西武グループのレジャー施設が点在。ベルーナドームは2021年3月にオープンとして生まれ変わり、さらなる魅力を打ち出している。



都心から近く、手軽にスキーを楽しめる屋内スキー場。観覧車の大型のスキー場と、都心の人工スキー場を誇るこの狭山丘陵エリアでは、高気圧/西武鉄道

増水亭や西武園競輪場など、西武グループのレジャー施設が点在。ベルーナドームは2021年3月にオープンとして生まれ変わり、さらなる魅力を打ち出している。

**用語解説** 狭山湖 [せやまこ]

埼玉県所沢市入間町にあり、1924年に完成。開業するまで完成まで約10年かかった。1924年に完成し、1925年に開業した。現在は、西武園ゆうえんち(多摩川)や狭山園(山口貯水池)と隣接する村山貯水池(多摩川)開通は当時、行楽スポットとして脚光を浴びていたことから、ここを目指して1930年1月に多摩川鉄道が狭山～村山貯水池(現)間を、同年4月に旧西武鉄道が東村山～村山貯水池間を開業している。

※本書は2019年に発行した『西武鉄道のすべて』を改訂したものです。

**【書誌情報】**

書名:西武鉄道のすべて 改訂版  
仕様:A5 判 176 ページ  
定価:1,980 円(本体 1,800 円+税 10%)  
発売日:2022 年 12 月 19 日

全国書店、オンライン書店の Amazon などで発売中。  
<https://amzn.to/3fHdJMG>

**【株式会社天夢人】** <https://www.temjin-g.co.jp>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

**【インプレスグループ】** <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社天夢人 担当:近江  
Tel: 03-6837-4680 / E-mail: [info@temjin-g.co.jp](mailto:info@temjin-g.co.jp)  
URL: <https://www.temjin-g.co.jp>